

西光寺だより

第三十九号 平成二五年十一月一日発行

十一月に入り、日に日に秋が深まってまいりました。少しずつ肌寒くなつていくにつれて紅葉も色づいていくようです。

この季節になると聞こえてきそうな「紅葉」という童謡を皆様もご存じのことと思います。

「秋の夕日に照る山紅葉（やまもみじ）

濃いも薄いも数ある中に

松をいろどる楓（かえで）や蔦（つた）は

山のふもとの裾模様（すそもよう）」

小学校の頃に習った記憶のあるこの歌は、その当時は気づかずにいた日本の美しい秋の風景が綴られています。歌を聴くだけで夕暮れ時の山々の艶やかさが目に映るようです。

「紅葉の美しい山は、夕日に照らされてますます赤く鮮やかに見え、濃い色や薄い色がたくさん混ざり合っている。山のふもとにある緑の松の木にも、蔦や楓が赤色や黄色に色づき、山裾に広がる着物の裾の模様のようだ。」

ゆつくりとこの歌を味わってみますと、なんとも美しい情景と、その美しさを汲みとる詩人の心の豊かさを感じます。

童謡はそれぞれの国の文化、風情、心を伝えるものだと思いましたが、本当にその通りですね。それは、時代が変わっても五感で感じることの出来る幼子の眼差しに似ている気がします。

皆様が、この歌を歌われたのはいつの頃でしょうか？

もし、ずっと先のことだとすれば、今の自分で味わってみられてはいかがでしょう。紅葉狩りとはまた違った、遠い記憶の中にあるご自分だけの大切な秋が感じられるかもしれません。



◆十一月・十二月の行事◆

十一月二十三日（土・祝）

西光寺報恩講法要

・二時（奉讃大師作法）

・七時（正信偈 行譜 六首引）

◎御法話

本願寺派布教使

藤本 文隆 師

（奈良県 西光寺）

西光寺本堂

十二月 五日（木）・六日（金）

茨木東組念仏奉仕団

（今年は三名のご門徒が参加されます。）

京都西本願寺

十二月 十三日（金）

茨木東組第六期連続研修会

（西光寺から四名のご門徒が参加されます。）

勝光寺

十二月三十一日（火）

除夜の鐘

西光寺

◆先月の報告◆

十一月一日（金）に茨木東組門徒総代会研修会があり、茨木東組十カ寺の総代様（約三十名）とともに「蓮如上人ご旧跡と蘇洞門めぐり遊覧」への親睦日帰り旅行に、前坊守と総代の寺田一雄様・吉田紀夫様の三人で参加されました。

小浜の蓮如上人御留錫舊地である妙光寺（蓮如上人が文明七年・一四七五年、二ヶ月くらい当寺におられ、吉崎御坊を退去された上人は、便船を求め順風を招いて一日で若狭の小浜に着岸され、吉崎へ帰るべきか畿内へ行くべきかと熟慮を重ねておられたといわれています。）を尋ね、蘇洞門めぐり遊覧船で観光し、帰路に着きました。日帰りでしたが他の総代様やご住職方と親睦を深められ、ありがとうございます。そして、お疲れ様でした。



☞あとがき☞

先月、あるご門徒の方からテレビでロウソクが爆発して火災になる恐れがあるというニュースを見られたようなので、皆様にも注意していただきたくその記事を載せさせていただきます。

ろうそくの火が飛んだことが原因とみられる火災は、ことし2月、大阪・枚方市の住宅で発生しました。

居間の障子の中央部分から突然火が出て住民が消し止めました。けが人はいませんでした。

障子の近くには、ろうそく立てがありました。20センチ以上離れ、ろうそくは燃え尽きた状態で、ほかに火の気もなく、当時は原因を突き止めることができませんでした。

消防では、現場のろうそく立ては水で洗ったあとだったと住民が話していたことから、ろうそく立ての受け皿部分に水分がある状態で火をつけて半年にわたって実験を繰り返したところ、まれにろうそくの芯が火がついたまま飛ぶ現象が起きることが分かりました。

ろうそくが燃え尽きるとき、溶けたろうの膜に閉じ込められた水分が数百度の炎に熱せられて沸騰し、ろうの膜が破裂して芯を飛ばしたとみています。

一方、実験結果を受けて、大手ろうそくメーカーでも独自に実験を行い、同じ現象が起きることを確認したということです。

全国のメーカーで作る「全日本ろうそく工業会」は、安全のため、ろうそく立ての水分を拭き取ったうえで使うよう注意を呼びかけることを決めました。

ろうそく工業会の鳥居邦夫会長は「水分をよく拭き取って使えば安全なので、火事にならないよう正しく使ってほしい」と話しています。皆様くれぐれも注意していただければと思います。

※報告

今年から茨木東組第六期連続研修会が行われます。各寺院にて話し合い法座を行います。これからも随時記載させていただきますので、よろしくお願い致します。

合掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>